

北海道ポラコン株式会社における活用例

事業承継に伴う自社ドメインの再定義

外部支援者（弁理士）と社長の2名で複数回、作成会議を行った。

STEP 1 下書きの事前作成

これまでの取引の中で提供を受けていた情報に基づいて、記載可能な項目を支援者にて記載。最初からすべては埋まらず、叩き台として作成した。

STEP 2 ディスカッション

下書きに基づき、「これから」の姿の具体化、現状とのギャップとその実現のための戦略の深掘りを行いつつシートを補充する内容の洗い出しを行った。

STEP 3 振り返り

STEP 2後に補充修正したシートを踏まえ更に検討、個々の要素の重み付け、優先順位等について討議を行った。

経営デザインシートを活用した感想・効果

- 目標/プロセスを外部支援者とディスカッションし可視化することで、改めて課題の意識に繋がった。フレームに照らして考えていくことで、フレームに当てはまらないが重要なことにも気づきを得られた。
- 社員向けに経営状況説明会を実施したり、将来を意識して海外プロジェクトに若手社員を同行させるなど未来志向の行動選択に繋がった。
- 今後役員クラスと経営デザインシートの記載情報の共有も図りたい。